

令和7年度事業計画

公益財団法人兵庫丹波の森協会

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを実現するために

- 1) 魅力ある地域づくり
- 2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくり
- 3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業などを推進する

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針（案）

兵庫丹波の森協会は、昭和63年に設立（平成24年公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和63年9月）に基づく「丹波の森構想」（平成元年3月）のもと、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立4施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

「丹波の森構想」策定から37年が経過する中で、「丹波の森宣言」が、丹波地域の無秩序な開発や画一的な都市化を危惧し、当時の貝原俊民兵庫県知事や河合雅雄先生の提言に基づき、丹波地域の21,616世帯が同意署名により成立したことや、「丹波の森づくり」の取組について、地域住民の認知度や理解度が低下していることが兵庫県豊かさ調査の結果からも表れています。

この「丹波の森宣言」の自然との共生や、ふるさとづくりを謳う森づくりの理念は、SDGs（持続可能な開発目標）や地域創生の考え方とも相通じるところがあり、丹波2050地域ビジョン（令和4年3月策定）においても、丹波の森づくりの「継承と進化」をめざすとしています。

これらの経過を踏まえ、この「丹波の森宣言」の取組をより具体的かつ強力に推進していくために令和5年度に、理事会や小委員会などで協議を重ね、「丹波の森創造プラン」及び「協会アクションプラン」を策定しました。

丹波の森創造プランは、「森を大切に守り育てる」「花と緑の美しい地域づくりを進める」「個性豊かな地域文化を育てる」「安らぎと活力に満ちた地域づくりを進める」という4つの宣言を、18の項目に分けて住民、事業者、行政が「丹波の森づくり」に向けて進める103の具体的な取組を整理したところです。

令和6年度には、丹波の森づくり＝未来へつなぐ「丹波の森創造プラン」として冊子にまとめて全世帯や関係機関に配布するなど、アクションプランに位置づけた「丹波の森づくり」の理念浸透への取組を強化しました。

令和7年度は、各事業の実施において「丹波の森づくり」の理念浸透の取組を一層、推進します。

自然を回復軌道に乗せるため生物多様性の損失を止め反転させるという「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の考え方を基軸として、「丹波の森づくり」に取り組みます。

さらに、成果指標と位置づけた目標値（丹波の森の認知度70%・理念や活動の理解度60%）の達成に向けた取組、事業毎の目的、事業対象者等をより明確に効果的な事業推進を4施設が連携をして取り組みます。

1 令和7年度 重点的な取組

●重点事業推進の項目

- ・「丹波の森づくり」の理念浸透
- ・「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実践
- ・地域で活躍する「もりびと(人材)」の育成・支援
- ・4施設が連携した効果的な事業展開
- ・管理施設の公募への対応

1) 理念の浸透

「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の理念浸透を図るため下記の事業に取り組みます。

| 項目 | 内容 |
|------------------|--|
| ①職員全員による情報発信 | (1) 職員意識向上 ・協会職員誰もが「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を理解し推進するため4施設職員に向けた意識向上及び取組研修 ・丹波の森大学への参加 (2) インスタなどSNSを積極的に活用した情報発信 ・職員自らが、協会（施設含む）の取組とともに、丹波の森づくりの情報を発信するための研修会の開催 (3) 4施設の情報誌を取りまとめて発信する。 |
| ②新聞による情報発信 | 新聞等に「丹波の森宣言」や「丹波の森構想」に関するコラムを掲載 ・丹波の森研究員（契約研究員含む）等が写真を添えて執筆 |
| ③図書館に丹波の森コーナー設置 | 両市図書館に「丹波の森特設コーナー」を設置し、協会が発行している冊子や資料、昔話などを配架し、子ども向けおはなし会を開催する。 |
| ④丹波の森づくりPR小冊子の作成 | 「丹波の森創造プラン」を判りやすく解説した冊子の増刷に加え、小中学生版の冊子を新たに製作する。 ・マンガやイラストを使いながら読みやすい冊子づくりを行う。 |
| ⑤映像編集・活用 | イベント、会議等の様々な機会を活用して「丹波の森づくり」のビデオ映像を上映する。 ・30周年記念時に製作したビデオの再編集を行う。 |
| ⑥県市との連携 | 県市と協会が一体となって取り組むため、県市政策担当部との定期的な情報共有や重点テーマの協議の場を設定する。 ・丹波の森構想を具体的に推進するために策定した「丹波の森創造プラン」の進捗状況を共有するために丹波篠山市、丹波市、兵庫丹波県民局との合同会議を開催します。 |
| ⑦学ぶ場の設定 | 両市に出向き職員研修の場を設定する。また、丹波の森大学への職員参加を依頼し、さらには一般の森大学受講生と両市職員が同時にスキルアップを図る養成ゼミ講座を開催する。 |

2) ネイチャーポジティブ（自然再興）の実践

「丹波の森宣言」等に関わる丹波の森づくりの理念の浸透を地域に図るとともに、4施設が実施する事業の推進テーマに「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を位置付け丹波の森の持つ力を強化して、丹波の森づくりをさらに推進します。

丹波の森大学では、ネイチャーポジティブや自然共生についての特別公開講座を開催します。

丹波の森研究所では、主要テーマにネイチャーポジティブを打ち出し、ユース躍動プロジェクト、職員等研修や協会の取組を支援します。

4施設が実施するイベントや講座などの中で、積極的に理念浸透やネイチャーポジティブを事業に位置付け実施します。

3) もりびと（人材）の育成

- ・協会（職員）として

協会の設置目的である「丹波の森づくり・丹波の森構想」の推進を職員自らが改めて意識し、協会活動に取り組みます。

- ・県民局、丹波篠山市、丹波市と連携して

常に県民局、2市と情報を共有し、「丹波の森づくり・丹波の森構想」や「丹波の森創造プラン」の理念を同じ視点でとらえるとともに、ネイチャーポジティブ（自然再興）を実践します。

- ・地域住民等に対して

丹波の森大学など、協会で実施する取組みにおいて、地域等で活躍できる人材育成、スキルアップに主眼を置き取り組みます。

4) 4施設の連携

4施設連携事業「(仮称) どんぐりプロジェクト」として、秋のイベントなどで、参加者がどんぐりの種まきをして持ち帰ってもらい、翌年度以降に施設で植栽を行う取組を実施します。(参加型の取組・施設の人工林の広葉樹林化)

各施設のそれぞれが保有する特色や強みを生かした取組を協働で実施するためのベンチプロジェクト会議などにより情報共有を図り、一体感を持った事業の推進を図ります。

(1次→素材活用・2次→製材機能・3次→木工作品・6次→木工教室、公園誘客)

また、丹波の森公苑、ささやまの森公園、並木道中央公園に整備されているフィールドの利用拡大を図るため、ルートの再整備（案内板や環境整備）を行い、ウォーキングルートとして、より誰もが気軽に散策できる整備に努めます。

さらに、いつでも子ども連れなどが訪れたい、遊びたい公園づくりを進めます。

5) 組織体制の強化と充実

丹波の森宣言に基づく「丹波の森づくり」を具現化し地域に浸透させるためには、協会事務局及び4施設が一体的に取組を推進する体制の強化や充実が重要です。

この中で、丹波の森公苑は、現在、非公募であることから県から現職5名や県OB職員7名が派遣され、施設運営の中核として業務推進に努めています。

公募後は、この派遣がなくなることから指定管理者の応募に向けて、「体制強化と充実」を図りながら、他の3施設とともに、安定かつ充実した人材の確保、及び効率的な事業推進に取り組みます。

2 丹波の森研究所の活動方針と活動内容

<丹波の森研究所の近年の取組と今後の活動方針>

丹波の森研究所では、丹波の森構想の30周年シンポジウムを受けて、生物多様性の推進、生き続けられる集落のあり方を主要テーマとして取り組んできた。その後、丹波の森構想のさらなる推進を目指して丹波の森創造プランの立案をサポートしてきました。

近年の社会動向をみると、2030年までに陸域、海域の30%以上を健全な生態系として保全しようとする目標（30by30）が掲げられている。人類の存続基盤を保全・再生する取り組みとして、ネイチャーポジティブの推進が必要であると言えます。

また、人口減少が激化する中で、少子高齢化も加速度的に進む中で、生活の基盤となる校区・集落スケールでの地域活動（コミュニティの形成、環境性能の維持、生業の活性化など）を健全に持続していく方策を探っていくことが喫緊の課題となっています。

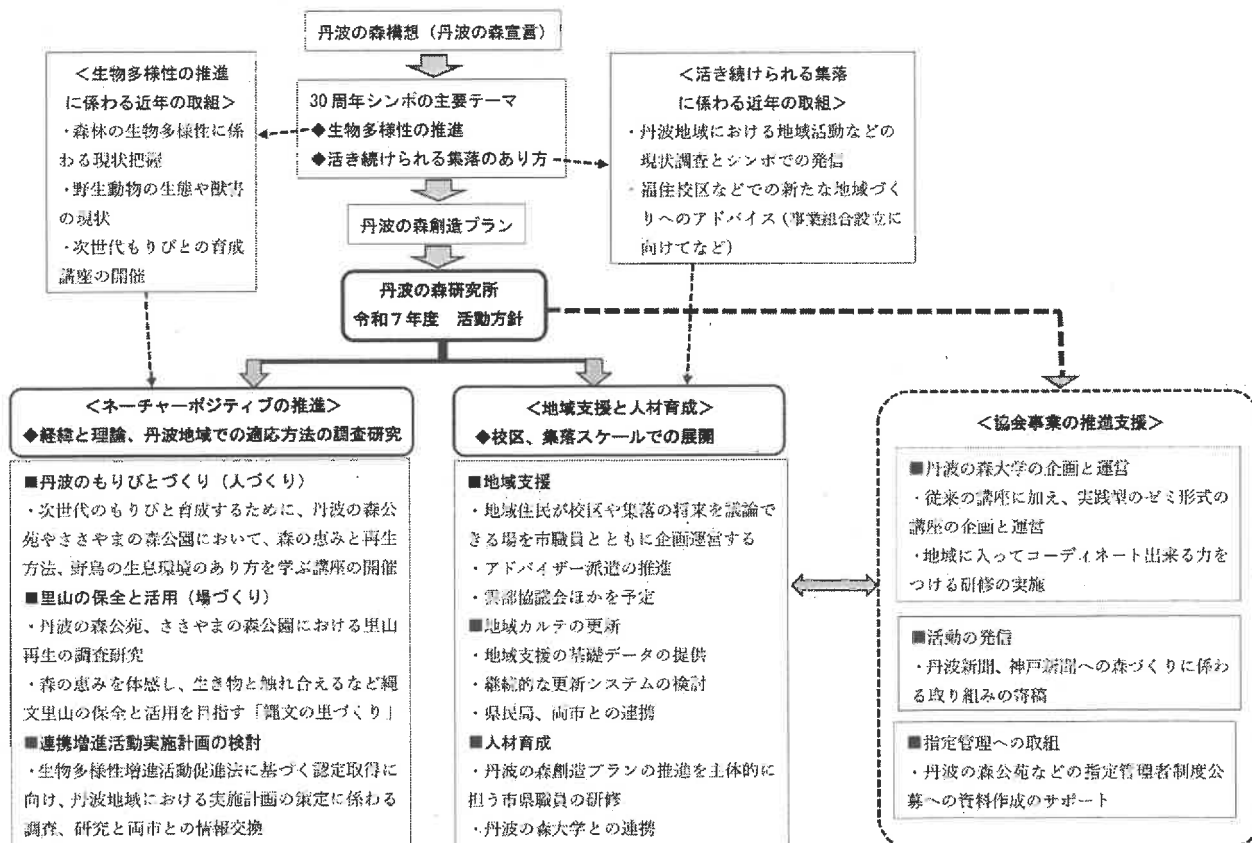
<令和7年度の活動内容>

活動内容の概要は、下図に示す通りである。

「ネイチャーポジティブの推進」と「地域支援と人材育成」を主要な活動内容とし、丹波の森大学、活動の発信、指定管理への取組など協会事業の推進支援を行います。

「ネイチャーポジティブの推進」では、これまで進めてきたコース躍動プロジェクトの場づくりへも展開すべく、里山再生の調査研究も実施する。さらに、丹波のもりびとづくり（人づくり）、里山の保全と活用（場づくり）を統合的に展開していくために、新たに施行される生物多様性増進活動促進法（令和7年4月施行）に基づく認定に向けて、丹波地域での「連携増進活動実施計画」の策定に係わる調査、研究を行い、丹波篠山市、丹波市と情報交換を行います。

「地域支援と人材育成」では、校区・集落スケールでの展開を目指して、地域支援、地域カルテの更新、人材育成などを進めていきます。



3 指定管理制度への対応

協会は、4つの県立施設の指定管理者として管理運営を受託しています。

丹波の森づくりの取組を基軸としながら、各施設の設置目的に合致した事業推進を図り適切な施設運営に努めます。

| 施設名 | 指定管理期間 | 適用 |
|-----------|--------|----------------|
| 丹波の森公苑 | R3～R7 | R7年度に公募の見込み |
| 丹波年輪の里 | R6～R10 | R5年度に公募で選定 |
| ささやまの森公園 | R6～R8 | R5年度に非公募で新たに選定 |
| 丹波並木道中央公園 | R3～R7 | R7年度公募 |

① 丹波の森公苑（非公募施設）

非公募での指定管理期間は、令和6年度以降、単年度ごとに更新されてきましたが、令和7年度には、公募方式による指定管理者の選定がなされる見込みです。県が実施するサウンディング調査では、多くの民間事業者が、本公苑の運営に興味を持ち、公募された場合に応募してくることが予測されます。

本公苑は、丹波の森構想を推進・具現化していく重要な拠点です。

協会としては、丹波の森構想を基軸とした取組を今以上に充実させるとともに、生活創造センターの設置目的である、様々な分野の生涯学習や、地域づくり活動等を通じて豊かな生活を創造する県民の主体的な活動拠点施設として充実を図る必要があります。

指定管理者として選定されるよう、民間事業者との共同事業化も検討しながら、施設運営の合理化、利用者サービスの向上、魅力ある事業展開等を目指して公募提案に取り組みます。

② 丹波年輪の里（公募施設）

令和5年度に公募が実施され、令和6年度から5年間の指定管理者に指定され2年目となります。

③ ささやまの森公園（非公募施設）

令和5年度に非公募により選定され、令和6年度から3年間の指定管理者に指定されました。現在は非公募により選定されていますが、将来的には公募の可能もあり、さらに充実した効果的な取組を進めます。

④ 丹波並木道中央公園（公募施設）

本公園は、指定管理期間の5年目となります。

令和7年度には次期指定管理者の公募が実施されるので、共同事業者である兵庫県園芸・公園協会と協議調整を行い応募します。

4 各部門・施設の主要な取組

令和7年度の協会事務局及び4施設の主な取組は下記のとおりです。

1) 協会事務局及び丹波の森研究所

| 項 目 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| 理念浸透 (目標値の達成を 目指す) | <ul style="list-style-type: none"> ○職員全員による情報発信(SNSを活用した発信) ○新聞記事へコラム掲載(丹波の森研究所) ○図書館に丹波の森特設コーナー設置(丹波のむかし話のお話し会の実施) ○PR企画(巨大お絵描き大会) ○「丹波の森」小冊子作成(大人版・小中学生版) ○丹波の森ビデオの再編集(各講演会の開始前等で上映) ○4施設での取組(ベンチプロジェクト会議ほか) ○取り組む事業などで、丹波地域内の住民を対象とした事業か、地域外の方を対象としたものなか、事業の対象や目的を明確にして実施する。 |
| 丹波の森大学 | <ul style="list-style-type: none"> ○第35期のテーマ:「森の力」 ネイチャーポジティブ(自然再興)の考えのもと「森の力」を総合的に強化することを学ぶことをテーマに構成する。 ○理解を深め学んだ知識(力)を活用する「丹波の森大学」 教養講座/年8回・養成ゼミ/全4回・現地学習(福井県) ○特別公開講座 「ネイチャーポジティブ」を学ぶ特別講座の開催 ○養成ゼミ講座 県市職員と森大学生が共に学び合い、地域で活用できるファシリテーションの実践技術を身につける。 ○他事業との連携 ○B大学との連携(合同公開講座) ○実施時期:5月～8年1月(教養講座・養成ゼミ・現地学習 全13回) |
| 丹波の森 KIDS プ ログラム | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生き物たちに目を向け、自然を楽しみ、興味関心を育み、自然を大切に作る心を育てる。 ・開催時期:5月～8年1月 ・開催場所:丹波の森公苑「芝生広場」ほか ・内容:年4回(予定) 【春】いどうこんちゅうかん(新規) 【夏】ミクロの世界をのぞいてみたよ(継続) 【秋】どんぐりころころ&自由にチョークでお絵描き(正面玄関前)(継続) 【冬】ゆめはく号がやってくる(継続) 共催:兵庫県立人と自然の博物館、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会 |

| 項 目 | 内 容 |
|---------|---|
| 丹波の森研究所 | <p>○地域支援「集落維持と活性化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が校区や集落の将来を議論できる場を市職員とともに企画運営 ・ 研究所が企画立案し、現状の調査と分析、地域に入る職員の育成を実施 <p>○地域づくりアドバイザーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活力と魅力ある丹波の森づくりを推進するための地域づくり支援 ・ 地域の取り組みや課題解決のため、研究所から専門家アドバイザーの派遣 <p>○多様な森の管理指針の探究を見守る若手育成プロジェクト（丹波の森公苑をフィールド）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森の植物や動物の生態、食や生活環境としての森の恵みなど 5講座 ・ 柏原高校の「地域探究」とも連携できる内容として多様な森の管理指針を採る調査 <p>○鳥類の生息に適した森の保全再生プロジェクト（ささやまの森公園をフィールドとして）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度調査を踏まえ、より詳細な鳥類の生息状況と生息環境の整備、管理のあり方に向けた講座・実習 5講座 ・ 篠山東雲高校生を中心に市内の高校生や一般などを対象 <p>○縄文の森（村）づくり</p> <p>丹波の森公苑フィールドの生き物のすみか環境調査・整備を、インセクトホテルづくりに取り組む若手グループ等と連携して進めていく。</p> <p>○生物多様性増進活動促進法に基づく認定への取組</p> <p>丹波のもりびとづくり（人づくり）、里山の保全と活用（場づくり）を統合的に展開していくために、新たに施行される生物多様性増進活動促進法（令和7年4月施行）に基づく認定に向けて、丹波地域での「連携増進活動実施計画」の策定に係わる調査、研究を行い、丹波篠山市、丹波市と情報交換を行います。</p> |

2) 丹波の森公苑

| 項 目 | 内 容 |
|------------------------|--|
| 「里山整備・活用のあり方」に基づく整備 | 苑内里山における設定した各ゾーンの計画的な整備に着手する。 第1ゾーン：職員やボランティアによる除草・剪定作業、専門業者への作業委託 第2ゾーン：間伐材の有効活用、協会4施設活用（間伐製材加工販売等）の検討 第3ゾーン：尾根づたいに遊歩道の点検や安全対策実施 |
| 丹波縄文の森塾 | ・開催期間：5月～令和8年2月 ・募集定員：小学4年～6年生24人 |
| 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり | ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導（21小学校、2高校、8事業所等） ・第16回放蝶会：6月下旬 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施 ・国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し：令和8年3月下旬 |
| 講座「丹波学」 | ・テーマ：「もっと知りたい 丹波の歴史を彩った人と城」 ・開催期間：8月～12月（全6回） ・講 師：城郭懇話会会員 他 |
| 丹波の森子どもミュージカル体験塾 | ・日 程：7月下旬～10月中旬（全15回） ・対 象 者：小・中・高校生 【発表公演】10月19日（日）2回公演（予定） |
| 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば | ・開催期間：4/20～10/12 ・オープニング・サロンコンサート 畑儀文氏、土師あき子氏、高本一郎氏 他 ・ガラ・コンサート 畑儀文氏、土師あき子氏、アロン・サリエル氏、城村奈津子氏 他 ・街角コンサート 丹波地域2市12会場 ・ふるさと音楽ひろば（丹波地域の小学校10校） ・キン・コン・カン・コンサート（丹波地域内の中・高・特別支援学校4校） ・吹奏楽部のための出前講座（丹波地域内で2回） ・音楽系部活動サポートプロジェクト（丹波市立中学校3校） |
| 生活創造活動支援 | ・生活創造活動を実施する団体等の活動支援 ・生活創造活動登録グループが一堂に会して交流するイベントを開催 ・貸館事業 |

3) 丹波年輪の里

| 項 目 | 内 容 |
|----------------------|---|
| 木工クラフト指導 及び特別工作教室 | <ul style="list-style-type: none"> ・木工クラフトの創造・創作活動の拠点。木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」。 ・初心者から本格派まで、基礎講座からカレースプーン、木のおもちゃ、焼きペン、漆塗り、刃研ぎ等バラエティに富んだ木工教室の開催 |
| 木育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育」の普及促進。 ・木製玩具の貸出しやワークショップ等。認定こども園等を訪問し、遊びを通して木の良さや香り、手触りなど体感できる木育活動。約20ヶ所 |
| 作品展等 | <ul style="list-style-type: none"> ○第11回ウッドワーカーズクラフト <ul style="list-style-type: none"> ・木工作家の作品の展示即売会を実施 ○座っ展 2025 ～丹波で坐る木の椅子～ <ul style="list-style-type: none"> ・「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピール ○第37回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「木を素材としたおもちゃを、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造する喜びを味わう」 ・木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催 ○第9回たんば絵てがみコンクール <ul style="list-style-type: none"> ・「絵手紙」を文化的な創作活動として支援 ○第34回アート・クラフトフェスティバル in たんば 2025 <ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で活動するクラフトマンの作品展示 |
| 各種イベント | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィークフェスタ 2025 ・緑の中のコンサート（年2回） ・グラウンドゴルフ大会（年4回） ・地域団体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ティラノサウルスレース in 丹波竜の里 ロハス・パーク丹波 グルメフェス@丹波 SPLASH!! 丹波!!、マルシェ、 丹波アウトドアフェスティバルなど 丹波年輪の里杯サッカー大会 丹波市モルック大会 マルシェ（春、クリスマス） |

4) ささやまの森公園

| 項 目 | 内 容 |
|-----------------------|---|
| 高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：鳥類や野生動物の生息状況や環境調査を経た里山保全に向けた取組 ・対象者：篠山東雲高校生、近隣高校生、一般参加者 ・実施時期：6月～10月 ・連携：京都府立大学大学院、県立人と自然の博物館と協働 |
| ネイチャーポジティブプロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> ・里山再生に向けた苗木の植栽活動 (活動スタッフ、ボランティア募集、「森の学校」児童 等) ・里山遊びフィールドの整備 (活動スタッフ協働) |
| 基本プログラム | <p>【重点事業】 活動スタッフ (ボランティア) が企画立案、当日のプログラムを運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○里山体験班 <ul style="list-style-type: none"> ・草木染め、鹿の角アクセサリー作り、布雑巾・しめ縄づくり 等 ○里山伝承班 <ul style="list-style-type: none"> ・おから料理、梅味噌、黒豆栽培、そば道場、黒豆みそ、ピザづくり 等 ○自然学習班 <ul style="list-style-type: none"> ・野草観察会、バードウォッチング、ホタルやモリアオガエルの観察 等 ○レクリエーション班 <ul style="list-style-type: none"> ・稲作体験、源流探検、深山登山、とんど、餅つき、ツリーイング 等 ○里山復元班 <ul style="list-style-type: none"> ・カッティングボード、ログチェア、ミニ門松、竹スピーカー、チェンソー安全教室 等 |
| 森の学校(第18期生) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で様々な体験、たくましく生きる力を育てる ・対象：小学3年生から6年生 開催回数：年10回 |

5) 丹波並木道中央公園

| 項 目 | 内 容 |
|------------------|---|
| 昆虫大捜査線 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の大自然の中で昆虫の捕獲や捕獲した昆虫を分類するなど、公園の自然を幅広く学ぶ事業を実施 ・兵庫県立人と自然の博物館と連携し、研究員講師による昆虫観察会を実施。 |
| サイクルステーション活用事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県サイクリングモデルルートの発着点であるサイクルステーションを活用し、自転車安全教室や一人で自転車に乗れる教室などを実施 ・県下で唯一自転車の乗り入れが可能な公園としてレンタサイクル事業を継続 (電動自転車の使用も開始) |
| 各種イベント | <ul style="list-style-type: none"> ○なみきみちわくわくフェスティバル 「Go!Go!里山の日」の会場の一つとして開催 ○なみきみちまつり (収穫祭) <ul style="list-style-type: none"> ・当公園のある味間地区と大山地区のまちづくり協議会と連携秋の収穫時 ・秋の収穫時期に大規模な食イベントを開催 |
| 大人の木工教室、なみきみちクラブ | <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の適正な間伐と間伐材の活用で温かみに触れる“木育” ・間伐材遊具の作成、間伐材を利用しての大人の木工教室など |

5 財政運営

財政上の課題として、県補助金である地域振興事業補助金等の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、協会の収入確保は厳しい状況にあります。

令和7年度においては、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」そして「丹波の森創造プラン」にかかる理念浸透にかかる取組に対して、丹波の森づくり基金を活用します。

また、基本財産の運用方法を見直すなど、効果的な財源確保を図ります。

さらに、協会事務局が取り組むアクションプランに基づき、事業や予算の精査を行い財源の在り方について県市と協議します。

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森友好親善交流事業

ウ 丹波の森研究所

- ・ 縄文の森ユース躍動プロジェクト事業

エ 地域づくり支援事業

- ・ 地域づくり支援事業
- ・ 花と緑の地域づくり事業
- ・ 丹波の里山づくり発信事業
- ・ 丹波の里山育成手法の調査研究

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

ケ 施設フィールドを活かした自由散策

【全施設】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

ア 丹波地域生物多様性保全事業

イ 丹波の森公苑里山事業

ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業

エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 講座「丹波学」の開設
- ウ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催
- ウ 展示ギャラリー等の活用
- エ 伝統文化活性化支援事業
- オ 座っ展 -丹波で坐る木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催

【全施設】

【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

- ア 芸術文化団体等への活動支援
- イ 音楽活動団体等への支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

- ア 協会維持運営
- イ 「丹波の森創造プラン」・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取り組み
- ウ 市・県との連携強化

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

(単位：円)

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|------------------|-----------------------------|--|---|---|
| (1) 魅力ある地域づくりの推進 | ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局) | 「丹波の森づくり＝丹波の地域づくり」を実践するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。 さらに、公開講座の開催や養成ゼミを取り入れた講座により地域等で活躍できる実践力を身につける講座を組み入れて開催する。 | 重点 ○第35期のテーマ：「森の力」 ネイチャーポジティブ(自然再興)の考えのもと「森の力」を総合的に強化することを学ぶことをテーマに構成する。 ・理解を深め学んだ知識(力)を活用する「丹波の森大学」 教養講座/年8回・養成ゼミ/全4回・現地学習(福井県) ・特別公開講座 「ネイチャーポジティブ」を学ぶ特別講座の開催 ・養成ゼミ講座 県市職員と森大学生が共に学び合い、地域で活用できるファシリテーションの実践技術を身につける。 ・他事業との連携 OB大学との連携(合同公開講座) ・実施時期：5月～8月1月(教養講座・養成ゼミ・現地学習 全13回) ・場所：丹波の森公苑、丹波篠山市民センター | 【予算額】 1,319,000 【前年度予算額】 1,360,000 |
| | イ ウィーンの森友好親善交流事業 (協会事務局) | ウィーン市は、市中央部を「ドナウ川」が流れ、市西部はウィーン市として知られる森林地帯が広がり、ユネスコの世界遺産に登録された「ウィーン歴史地区」や国立歌劇場や博物館など、豊かな森、自然景観、文化や歴史が市民の生活の中に深く溶け込んでいます。 まさにこれは、丹波の森宣言、丹波の森構想で目指す「丹波の森」のモデルであり、今後市民を中心とした交流をさらに深めることにより、さらに魅力的な「丹波の森」づくりを進展させる。 | ○新たな都市間友好親善提携に向けて ・都市間友好親善提携の実現に向け、引き続き実現に向けた調整を行う。 ・ウィーン市13区在住ラクナー氏を通じ、メールやZoom会議での意見交換 ・ウィーン市の写真展開催 ○オオムラサキへの支援及び情報交換 ・国営オオムラサキをウィーン・シェーンブルン動物園で飼育・繁殖する支援事業を「兵庫丹波オオムラサキの会」の協力を得て、継続して実施する。 ・越冬幼虫の提供のほか、提供方法の再検討とオオムラサキが成長するまでの飼育環境について助言と関連する調査研究 ○交流花壇設置支援事業 ・丹波の森・ウィーン市森提携20周年記念事業・友好親善提携訪問団メンバーにより設置した「シューベルト花壇」は、当協会とウィーン市13区との交流のシンボルとして来苑者に周知することを目的に設置したものであり、適正な維持管理に係る資材等の支援を行う。 | 【予算額】 236,000 【前年度予算額】 236,000 |
| | ウ 丹波の森研究所 (協会事務局) | 丹波の森構想に基づく「人・自然・文化・産業の調和した地域づくり」(丹波の森づくり)を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言とともに、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、地域とともに考える地域伴走型支援を行う。 | ○地域支援「集落維持と活性化」 ・少子高齢化が進む集落の機能維持と、同時に移住定住を含めた活性化に向けて市とともに取り組む ・研究所が企画立案し、現状の調査と分析、地域に入る職員の育成 ・市は、活性化チームをつくり、地域とともに考える仕組みをつくる。 重点 ○多様な森の管理指針の探究と森を見守る若手育成プロジェクト(丹波の森公苑をフィールドとして) ・森の植物や動物の生態、食や生活環境としての森の恵みなどの講座・実習 5講座 ・柏原高校の「地域探究」とも連携できる内容として多様な森の管理指針を探る調査 ○鳥類の生息に適した森の保全再生プロジェクト(ささやまの森公園をフィールドとして) ・前年度調査を踏まえ、より詳細な鳥類の生息状況と生息環境の整備、管理のあり方に向けた講座・実習 5講座 ・丹波篠山市東雲高校生を中心に市内の高校生や一般などを対象 ○縄文の里(村)づくり ・丹波の森公苑フィールドの生き物のすみか環境調査・整備を、インセクトホテルづくりに取り組む若手グループ等と連携して進めていく。 ○市・県との連携 ・丹波篠山市、丹波市、丹波県民局と連携を深め、様々な情報を共有するとともに、今後の研究テーマを検討する。 ・丹波の森づくりの経過や取組などを伝える研修会を丹波篠山市、丹波市の職員に対して実施する。 ○民間支援組織との連携 ・民間の中間支援組織との情報共有を図り、それぞれと連携し、効率的・効果的な丹波の森づくり事業の推進を行うことを目標として実施する。 | 【予算額】 3,844,000 【前年度予算額】 3,761,000 |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----|------------------------------------|--|--|--|
| | (協会事務局) (丹波の森研究所) | 丹波 2050 地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんばユース躍動プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生（グリーンリカバリー）と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。 | <p>○丹波の森大学への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森研究所の取り組み調査研究課題と連携した内容で、年間のテーマ設定、講師選定、現地学習地の選出などの支援 <p>○生物多様性増進活動促進法に基づく認定への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波のもりびとづくり（人づくり）、里山の保全と活用（場づくり）を統合的に展開していくために、新たに施行される生物多様性増進活動促進法（令和7年4月施行）に基づく認定に向けて、丹波地域での「連携増進活動実施計画」の策定に係わる調査、研究を行い、丹波篠山市、丹波市と情報交換を行う。 <p>○縄文の森ユース躍動プロジェクト</p> <p>前年度の結果を受けて、事前に両市や高校などとの連携・調整して、対象やテーマを絞り込んで実施</p> <p>新規</p> <p>① 多様な森の管理指針の探究と森を見守る若手育成プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：丹波の森公苑 ・実施内容：森の植物や動物の生態、食や生活環境としての森の恵みなど5講座程度。高校の「地域探究」とも連携できる内容とする。多様な森の管理指針を探るための調査研究フィールドを丹波の森公苑内に設置する。 ・対象者：県立柏原高校生、丹波地域の高校生、森林管理者、森林活動者、丹波県民局、両市の行政職員など ・実施時期：6月～10月 <p>※上記のプロジェクトの実施に関しては、兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立人と自然の博物館などと協働する予定</p> <p>② 鳥類の生息に適した森の保全再生プロジェクト（ささやまの森公園と共同実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：ささやまの森公園 ・実施内容：前年度の調査結果を踏まえ、より詳細な鳥類の生息状況と生息環境の整備、管理のあり方に向けた講座や実習など5回程度 ・対象者：県立篠山東雲高校生、丹波地域の高校生、一般参加者他 ・実施時期：6月～10月 ・連携：兵庫県森林動物研究センター、京都府立大学などと協働する予定 <p>前年度の結果を受けて、事前に両市や高校などとの連携・調整して、対象やテーマを絞り込んで実施</p> <p>新規</p> <p>○縄文の里（村）づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：丹波の森公苑 ・実施内容：森づくりに取り組む次世代のもりびと参画を得て、既存施設（炭焼小屋、灰屋等）、栗園、雑木林など、森の恵みや里山の資源を活用し、「縄文の里（村）」として、統合化していく。また、多様な森の管理指針の探求と森を見守る若手育成プロジェクトと連携して進めていく。 ・対象者：県立柏原高校生、丹波地域の高校生、森林管理者、森林活動者、丹波県民局、両市の行政職員など ・実施時期：5月～11月 | <p>【予算額】 2,117,000</p> <p>【前年度予算額】 2,030,000</p> |
| エ | 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業 (協会事務局) | 地域づくりや地域固有の課題に対し、地域や市、県、中間支援組織等と連携しながら住民とともに考え、課題解決に向けた取り組みを支援する。 | <p>○地域づくりアドバイザーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりや地域の活性化などの取組みを行っている地域や自治会等の団体の要請を受け、研究員を含むアドバイザーを派遣する。また、地域の取り組みや活動、課題解決へのコーディネート業務などを行う。（3箇所、年3回程度/箇所） ・市職員とともに地域の要請により、議論できる場を市とともに企画立案する。 <p>○地域づくりの情報収集</p> <p>○校区カルテの更新システムの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区カルテを継続的に更新できるシステムを構築するために、丹波県民局、丹波篠山市、丹波市との情報交換を進める。 | <p>【予算額】 596,000</p> <p>【前年度予算額】 536,000</p> |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----|----------------------------|--|---|--|
| | ・花と緑の地域づくり事業 (協会事務局) | 美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動をいっそう推進するため、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。 また、地域の団体等が主催するオープンガーデン事業に参加して支援の輪を広げていく。 | ○ミニガーデン(コンテナガーデン)の製作・展示 ・丹波の森公苑・丹波年輪の里・丹波並木道中央公園でミニガーデンを展示し、花づくり愛好家との交流を促進し、地域での花づくりを推進する。 ・開催期間 10月11日(土)～11月3日(月・祝) ・規模 6庭程度 ○たんばオープンガーデンへの参加 ・花を愛する人たちのグループが主催されるオープンガーデン事業に兵庫丹波の森協会として参加し、参加者との意見交換や交流により、美しい地域づくりに努める。 ・ガーデン実施時期 4月下旬～5月下旬 | 【予算額】 405,000 【前年度予算額】 495,000 |
| | ・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局) | 丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。 | ○丹波の里山づくり活動支援事業 ・モデルとなる里山を地域住民が自ら30年かけて整備し、その活かし方、楽しみ方を広く情報発信する。 ・モデルとなる里山活動10団体にアドバイザーを派遣し、活動を継続、イベント企画、行政担当部局との連携など、30年の森づくり活動を支援する。 ・アドバイザー会議の開催 会議において、支援要望団体等の活動状況や要望・課題を共有し、具体的支援方法を協議し、里山づくりアドバイザーの派遣調整や外部人材の派遣を行う。 | 【予算額】 600,000 【前年度予算額】 1,100,000 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託) |
| | ・丹波の里山育成手法の調査研究 (協会事務局) | 森林の将来ビジョンを描くことができるよう、丹波の森公苑等において人工林や天然林ごとの利活用区分に応じた里山林整備後の調査研究等を行い、地域の里山活動団体が実施する生物多様性の保全やSDGsの取り組みを支援する。 | ○多様な森の管理指針に係わる動物・植生の調査 ・ゾーンを決め、動物行動を把握する定点カメラを設置し、植生の出現状況との関係性を把握する。 ○植生の再生が鳥類の生息相に及ぼす影響の調査 ・相観植生の違い、水辺の有無、谷部尾根部などの地形特性に着目して選定した、前年度4ヶ所の鳥類観察地点の周辺において、一部シカ防護柵を設置し、その効果を把握する。 | 【予算額】 1,500,000 【前年度予算額】 — (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託) |
| オ | 花づくり活動支援事業 (丹波の森公苑) | 花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。 | ○花と緑の教室(基礎講座) 草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 募集定員:60人 受講料:18,000円 講師:県立フラワーセンターからの派遣職員 実施期間:5～8年3月(年6回) 場所:丹波の森公苑創作工房 ○花と緑の地域教室(自主活動グループ支援) 花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者が、リーダーとして地域単位で教室を開催 募集人員予定:15人程度 受講料:16,500円 講師:花と緑の教室を受講した者 実施期間:5～8年3月(年6回) 場所:公民館等 ○園芸教室(応用創作講座) 創作寄せ植えを中心とした知識習得、実習 募集定員:30人 受講料:7,000円(材料費等別) 講師:ひょうごガーデンマイスター認定者 実施期間:5～8年3月(年7回) ※うち1回は先進地視察 場所:丹波の森公苑創作工房 | 【予算額】 1,628,000 【前年度予算額】 1,749,000 |
| カ | 丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑) | 地域住民、各種団体による様々な活動の成果発表や団体交流の機会を提供し、生活創造活動の一層の活性化を図る。 | ○丹波の森フェスティバル ・開催日:10月26日(日)予定 ・内容:ワークショップ、作品展示、ステージ発表、森との触れ合いイベント等 | 【予算額】 769,000 【前年度予算額】 756,000 |
| キ | 丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里) | 木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。 | 重点 ○木工クラフトの指導 木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとする。 ・内容 少人数単位のニーズに合った物づくり体験への参加につながる仕掛けづくり。 団体利用やフィールドパビリオンを意識した充実したキットメニューの展開 ・時期 通年 ・場所 丹波年輪の里クラフト館 | 【予算額】 3,680,000 【前年度予算額】 3,160,000 |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----|--------------------------|--|--|---|
| | | | <p>○ゴールデンウィークフェスタ 様々なワークショップを実施しレクリエーション活動を促進する。併せて年輪の里を利用するサークル活動の発表の場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 端材を使ったワークショップ、竹とんぼづくり、ツリーイング体験、フリーマーケット、モルック体験会、ふわふわ遊具、クラフト作品展、水彩画展、バードカービング展、座つ展2025 ・時期 5月3日(土)～6日(水) ※座つ展は5月1日(木)～6日(水) ・場所 丹波年輪の里苑内各施設 <p>○第11回ウッドワーカーズクラフト 木工クラフトの振興、支援。丹波地域を中心に創作活動を行う木工作家の作品の展示即売会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 木工作家約40名が丹精込めて制作した木工作品を展示、即売。各作家の逸品オークションも実施 ・時期 5月3日(土)～4日(日) ・場所 丹波年輪の里芝生広場 <p>○木に関する情報を提供する事業 木材や木製品とのふれあいを通じて木材への関心や木の文化への理解を深め、木材の良さや利用の意義を伝えようと共に木材利用の情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 木材利用を促進するための展示・販売 木本市…丹波市内の製材所や木工所と協力しDIY向けの木材・端材を廉価で販売 木の何でも市…木本市等の端材を受託販売 ・時期 木本市：年2回 5月、11月第3土曜日(予定) 木の何でも市：通年 ・場所 丹波年輪の里木の館、クラフト館前広場 <p>重点</p> <p>○木育活動 人と、木や森との関わりを主體的に考えられる豊かな心を育む「木育」の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 木製玩具の貸出しやワークショップ等。認定こども園等を訪問し、遊びを通して木の良さや香り、手触りなど体感できる木育活動。約20か所を予定 ・時期 通年 ・場所 丹波地域、阪神間 <p>○平日グラウンドゴルフ 芝生広場を活用して、グラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 2コース設定 16ホール ・時期 通年(年間営業日約140日(夏季、冬季、春季休業日、土日祝日、休館日、年末年始除く)) ・場所 丹波年輪の里芝生広場 <p>○第9回 心を届ける たんば絵てがみコンクール 物より心の豊かさ、高齢化社会などに適合した手紙としての「絵手紙」の愛好者が増加している。「絵手紙」を文化的な創作活動として支援するため、公募展を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 身近なものや風景を描いた絵と心温まるメッセージを入れた郵便はがき等を公募する。一般の部、高校生以下の部 入賞作品各約17点(金賞・銀賞・銅賞・たんば賞・審査員特別賞・オーディエンス賞)、入選作品40点 ・テーマ 「季節」 ・時期 募集期間 9月～12月 展示期間 2月上旬～中旬 ・展示場所 木の館ほか 丹波の森公苑、ゆめタウン、丹波おばあちゃんの里、神戸市、三田市でも巡回展を予定 | |
| ク | 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園) | 公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。 また、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」と | <p>○活力あふれる地域づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なみきみち恐竜化石パーク(発掘体験会) 恐竜化石等に関連した体験プログラムの実施 ・なみきみちまつりの企画実施 地元まち協など共同で実行委員会を結成し大規模な職イベントを実施(10月) ・かやぶき民家と棚田を活用した「丹波の食をまるごと楽しむ」 棚田での赤米・黒大豆づくり体験、かやぶき民家での「丹波のむかしばなし」読み聞かせ会や日本茶関連の事業を実施 | 【予算額】 3,591,000 【前年度予算額】 3,591,000 |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|-----------------------------|--|---|---|--|
| | | <p>いう新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。</p> | <p>○子育て事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なみきみちミニパークの設置 間伐材を使った遊具（ベンチ・ブランコ・キッチンハウス等）の更新、作成 ・なみきみちわくわくフェスティバル開催 丹波篠山市が制定した「GOGO！里山の日」に子どもが里山に触れる体験イベントを実施（5月5日） ・大型複合遊具（恐竜遊具）の設置 <p>○環境との共生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なみきみちクラフト（年6回） ・大人の木工教室 公園内の間伐材（スギ・ヒノキ材）使用し、イスやベンチなどを製作する教室を開催（年20回） ・花と緑を活かしたイベントの実施 季節毎にテーマを設定し、実習形式で寄せ植え教室を開催（年9回） ・なみきみちstyle木工キットの企画開発 ・昆虫大捜査線 公園内の大自然の中で昆虫の捕獲や捕獲した昆虫を分類するなど、公園の自然を幅広く学ぶ事業を実施 <p>○安全安心な地域づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン・パークの企画実践 <p>○持続可能なパークマネジメント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの公園プロジェクト（9月、3月） ・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの設置 誰もが利用できるように公園の設備、備品、遊具などのデザインを助言するアドバイザーを設置する。 ・なみきみちクラブの運営 ・公園広報誌「PARK LIFE」での情報発信 四半期毎に発刊し、地域の児童生徒、県立都市公園、丹波地域の公共施設などに配布 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の実験遊び場の設置 ・フォトジェニック・スポットの設置 ・おもいっきり！なみきみちキャンプ デイ（年2回）お泊り（年1回） ・間伐材を使った自由工作室「森の工房」 | |
| | <p>ケ 施設フィールドを活かした自由散策 （丹波の森公苑） （丹波年輪の里） （ささやまの森） （並木道中央公園）</p> | <p>施設利用者だけでなく、だれもが気軽に訪れる公園、散策できるフィールドの活用・整備を行う。</p> | <p>○施設フィールドを活かした自由散策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設ごとの魅力を生かした公園内の自由散策の推進を図る。 ・丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、並木道中央公園の散策等のルートを点検、再整備（案内板など）を行い、だれもが気軽に散策できるような整備を行う。 ・丹波の森公苑のフィールドに、子ども連れ等が訪れたい、遊びたいと思える公苑づくりの工夫、及び検討を行う。 | |
| <p>(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進</p> | <p>ア 丹波地域生物多様性保全事業 （協会事務局）</p> | <p>平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。</p> | <p>○生物多様性保全に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性の情報を発信 ・地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。 ・生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援 <p>○丹波の森 KIDS プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生き物たちに目を向け、自然を楽しみ、興味関心を育み、自然を大切にすることを育てる。 ・開催時期：5月～8年1月 ・開催場所：丹波の森公苑「芝生広場」ほか ・内容：年4回（予定） <p>【春】いどうこんちゅうかん（新規）</p> <p>【夏】ミクロの世界をのぞいてみたよ（継続）</p> <p>【秋】どんぐりころころ&自由にチョークでお絵描き（正面玄関前）（継続）</p> <p>【冬】ゆめはく号がやってくる（継続） 共催：兵庫県立人と自然の博物館・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会</p> | <p>【予算額】 259,000</p> <p>【前年度予算額】 139,000</p> |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----|----------------------------|---|--|--|
| イ | 丹波の森公園里山事業 (丹波の森公園) | <p>丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。</p> <p>また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> | <p>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人などを対象に、丹波の森公園里山を拠点とした講座や里山整備に関する相談を実施。 【講座】 (間伐材活用編) 日程：4月～7月 年5日間開催 募集定員：6人 参加費：3,000円 場所：丹波の森公園里山 (間伐編) 日程：10月～8年1月 年5日間開催 募集定員：6人 参加費：3,000円 場所：丹波の森公園里山 (丸太木工教室(ベンチづくり)) 日程：11月 1回開催 募集定員：6人 参加費：6,000円 場所：丹波の森公園創作工房 【相談】 日程：随時 <p>○里山及び環境学習体験フィールドの整備</p> <p>丹波の里山づくりを実践する自主活動グループ「里山倶楽部(115創設、会員数22人)」及び森づくり講座受講生を中心とした「里山整備サポーター(130創設、会員数14人)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、草刈り、森林整備等の環境整備を行う。</p> <p>○森づくり活動アドバイザーの設置</p> <p>緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。</p> <p>重点</p> <p>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり</p> <p>オオムラサキの飼育展示を行うとともに、オオムラサキが舞う里山空間の創造を目指して設立された兵庫丹波オオムラサキの会(123設立、会員数111人)と連携し、オオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> オオムラサキの飼育展示 小学校・企業等への飼育指導 第16回放蝶会の実施 国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト オオムラサキ越冬幼虫探し 兵庫丹波オオムラサキの会との連携 | <p>【予算額】 741,000</p> <p>【前年度予算額】 648,000</p> |
| | | <p>丹波の森公園の里山整備を計画的に実施し、豊かな風景や景観の形成、生物多様性の保全を図る。また、里山整備を通じて、担い手の育成、里山環境の学びと里山整備を体験する場の提供、伐採樹木等の森林資源の活用を推進する。</p> | <p>○「里山整備・活用のあり方」に基づく整備</p> <p>苑内里山における設定した各ゾーンの計画的な整備に着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1ゾーン：職員やボランティアによる除草・剪定作業の継続、専門業者への作業委託 第2ゾーン：間伐材の有効活用、協会4施設活用(間伐製材加工販売等)の検討 第3ゾーン：尾根づたいに遊歩道の点検や安全対策実施 | |
| ウ | 丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園) | <p>里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。</p> | <p>○子ども対象プログラム</p> <p>重点</p> <p>○丹波縄文の森塾の開催</p> <p>開催期間：5月～令和8年2月 募集定員：小学4年～6年生24人 参加費：9,000円</p> <p>内 容：里山及び生きもの観察、縄文土器野焼き体験、稲作り体験(田植え、稲刈り、脱穀、餅つき)</p> <p>○自然体験活動サポーターの設置</p> <p>丹波縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を配置。社会人等が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</p> | <p>【予算額】 1,210,000</p> <p>【前年度予算額】 1,164,000</p> |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----|--------------------------|---|---|--|
| | | | <p>○環境体験学習支援プログラム</p> <p>①親子・家族対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山ふれあいハイキング 実施日：4月下旬 募集定員：30人 ・丹波いきもの大集合 実施日：7月中旬 会 場：丹波ゆめタウン（出張移動展示） 対象：家族連れ等 <p>②幼児・小学生対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 実施日：9月～10月 参加者：小学生、認定こども園園児 ・生きもの観察会 | |
| エ | ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園) | <p>ネイチャーポジティブの理念を柱とした人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働を基に、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)や、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)、(ウ)団体プログラム(園内散策・ウッドクラフト等)などを実施し、里山の保全と創造、再生を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。</p> | <p>重点</p> <p>○基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験班：草木染め、布スリッパ作り、しめ縄作り等 開催回数：延べ 25回 ・里山伝承班：黒豆栽培、そば道場、ちまき作り等 開催回数：延べ 20回 ・自然学習班：バードウォッチング、野草観察、ヒメボタルの観察等 開催回数：延べ 13回 ・レクリエーション班：深山登山、源流探検、木登り体験等 開催回数：延べ 22回 ・里山復元班：炭焼き体験、シイタケ作り、ベンチ作り等 開催回数：延べ 10回 <p>○特別プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山まつり（春秋の2回開催） 内容：里山体験プログラム、里山コンサート、ビンゴゲーム 等 開催予定日：4月13日（日）、11月9日（日） ・里山の日特別企画 内容：バードウォッチング、深山登山、野草観察等 開催予定日：里山の日（5月5日）前後 ・その他プログラム 里山コンサート、里山講演会 等 <p>重点</p> <p>○ネイチャーポジティブプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山再生に向けた苗木の植栽活動 ・里山遊びフィールドの整備 <p>○森の学校（第18期生）</p> <p>内容：里山体験活動、キャンプ 等 開催予定日：5月から8年3月まで年間10回 対象者：小学3年生から6年生（15名を予定）</p> <p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用：草木染め、ウッドクラフト等 ・県立篠山東雲高等学校「里山文化」授業支援 <p>○希少動植物保護に向けた環境保全の取組</p> <p>経 緯</p> <p>○高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト（丹波の森研究所と共同実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：ささやまの森公園 ・実施内容：鳥類や野生動物の生息状況や環境調査を経た里山保全に向けた取組・対象者：県立篠山東雲高校生、近隣高校生 一般他 ・実施時期：6月～10月 ・連携：京都府立大学大学院、兵庫県立人と自然の博物館等と協働 <p>○里山環境を守り育てる人材バンク活用 内容：環境保護協力員の登録及び活動推進 野鳥観察の会、野草研究会 他</p> <p>○環境保護スタッフ・ボランティア研修 内容：環境保護活動に向けた研修会開催</p> <p>○福住地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福住伝統的建造物保存地区及び域内人気店舗との連携強化 ・まち協等地域活動への参画 | <p>【予算額】 5,920,000</p> <p>【前年度予算額】 5,886,000</p> |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|------------|-----------|--|--|---|
| | | | <p>○親子で朗読会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ささやま図書館友の会と協同開催 <p>○次代協カスタッフの発掘と育成</p> <p>内容：主に「森の学校」修了生や篠山東雲高校卒業生を対象に若手ボランティアスタッフの発掘と育成</p> | |
| (3) 公1共通経費 | ア 施設運営・管理 | 公1 森林文化（地域づくり）の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費 | 公1 森林文化（地域づくり）の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。 | <p>【予算額】</p> <p>162,237,000</p> <p>(局) 6,235,000</p> <p>(苑) 15,180,000</p> <p>(館) 75,312,000</p> <p>(さ) 22,282,000</p> <p>(並) 43,228,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>160,319,000</p> |

公2 生活創造活動への支援

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----------------|---------------------------------------|---|--|---|
| (1) 地域・団体活動の支援 | ア 生活創造活動支援事業 (消費生活を含む) (丹波の森公苑) | 丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。 消費者被害防止のための普及啓発を実施する。 | ・生活創造活動グループサポート事業による丹波の森公苑内でのイベント等への支援(年20件) ・グループが一堂に会するイベント(モリクル)を開催(7月、10月) ・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機提供 ・消費生活にゆーすの発行(年4回) ・丹波新聞への「消費者クイズ」提供、チラシによる啓発 | 【予算額】 240,000 【前年度予算額】 240,000 |
| | イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑) | 県民の生活創造活動のために施設を貸与する。 | 会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、統一的な基準により貸与する。 | |
| | ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里) | 地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。 | <p>重点</p> <p>○ティラノサウルスレース in丹波竜の里(共催) 恐竜化石の宝庫をアピールするとともに、併せて丹波三宝に代表される魅力満載の秋の丹波を発信する。 ・内容 広大な芝生広場をティラノサウルスの着ぐるみを着用した短距離走、丸太切り、恐竜化石展示や化石発掘体験他 ・時期 10月18日(土)延期の場合10月19日(日) ・場所 丹波年輪の里芝生広場他各施設</p> <p>○グラウンドゴルフ大会(主催) ・内容 芝生広場を活用して、グラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため開催する 3コース 24ホール 定員192人 ・時期 年4回(6月、9月、12月、8年3月) ・場所 丹波年輪の里芝生広場</p> <p>○イベント支援 年輪の里を丹波地域等で活躍する団体等の活動の場を提供、地域づくりの人材育成にも繋げる。 ・内容 ① ロハス・パーク丹波 グルメフェス@丹波 ② SPLASH丹波 ③ 丹波アウトドアフェスティバル ④ 丹波市モルック大会 ⑤ マルシェ ・時期 ①6月7日(土)～8日(日) ②8月3日(日) ③④未定 ⑤4月13日(日)</p> <p>重点</p> <p>○特別工作教室の開催(主催) 木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとする。 ・内容 初心者から本格派まで、基礎講座からカレースプーン、木のおもちゃ、焼きペン、漆塗り、刃研ぎ等バラエティに富んだ木工教室の開催 また、勤務等により平日等に昼間に時間が取れない人ための夜間の木工教室の開催を検討 ・時期 通年 ・場所 丹波年輪の里クラフト館</p> <p>○ギャラリーアトリエ(主催) CSR施設として、アトリエ棟をした木工をはじめとする文化的なサークルの活動を支援する。 ・内容 水彩画展、ボードカービング等のサークルのアトリエでの活動を支援、新規サークルの開拓 ・時期 通年 ・場所 丹波年輪の里アトリエA・B</p> <p>○緑の中のコンサート(主催) 四季折々の自然あふれる素晴らしい環境の中で、音楽を通じて来苑者に癒しや安らぎの時間を楽しんでもらう演奏会を実施する。 併せて丹波地域を中心に活動をしている高校生や音楽家の発表の場を提供することで、地域担う人材育成に繋げる。 ・内容 主に丹波地域を中心として活動している個人、団体等に出演を依頼、特に中高生のクラブ活動等の披露の場を提供 ・時期 年2回(6月、クリスマス) ・場所 丹波年輪の里木の館あるいはクラフト広場</p> | 【予算額】 2,030,000 【前年度予算額】 2,230,000 |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|------------------|--|--|--|---|
| | | | 新規 ○丹波年輪の里杯サッカー大会の開催 次代を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を高めると同時に、サッカーを通して健康でたくましい子どもたちを育てる少年サッカー大会を開催する。 ・内容 丹波地域の少年チームを中心としてトーナメント方式で実施 ・時期 未定 ・場所 丹波年輪の里イベント広場 | |
| (2) 生涯学習の場の提供 | ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設(丹波の森公苑) | 生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をさらに磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を育成する。 | ○丹波OB大学 ・学習年限：4年 ・受講者数：170人(1年定員60人、2年46人、3年26人、4年38人) ※募集定員：60人 ・講座内容：教養講座、特別講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)等 ・開催時期：4月～8年3月までの18回 ・受講料：12,500円 | 【予算額】 2,150,000 【前年度予算額】 2,012,000 |
| | イ 講座「丹波学」の開設(丹波の森公苑) | 地域の特色や丹波地域の魅力の再発見などを通じて、伝統文化等を生かした地域づくりに活用するための学習機会を提供する。 | 重点 ・テーマ：「もっと知りたい 丹波の歴史を彩った人と城」 ・開催期間：8月～12月(全6回) ・募集定員：200人 ・講師：城郭懇話会会員 他 ・受講料：6,000円 | 【予算額】 1,200,000 【前年度予算額】 900,000 |
| | ウ 丹波地域学ふ高齢者のつどいの開催(丹波の森公苑) | 丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表する。 | ○丹波地域学ふ高齢者のつどい ・開催日：9月25日(木)～26日(金) ・会場：丹波の森公苑 ・内容：丹波篠山市高齢者大学、丹波市高齢者学級、丹波OB大学の受講生による作品展及び芸能発表 | 【予算額】 180,000 【前年度予算額】 180,000 |
| (3) 明日を担う丹波っ子の育成 | ア トライやる・ウィーク等受入(丹波の森公苑)(丹波年輪の里)(ささやまの森公園)(並木道中央公園) | 中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。 | 中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 期間：未定 ・インターンシップ(高校生) 期間：未定 | 【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000 |
| | イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催(丹波の森公苑) | 将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育む。また、仲間と共に創造することを楽しみながら、舞台芸術に親しむ活動を通じた青少年の健全育成を目指す。 | 重点 ○レッスン ・日程：7月下旬～10月中旬(全15回) ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：50人程度 ・指導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 ○発表公演 ・日時：10月19日(日)2回公演(予定) ・会場：丹波の森公苑ホール ・演目：未定 ・入場料：大人1,000円、高校生以下無料 | 【予算額】 1,725,000 【前年度予算額】 1,615,000 |
| | ウ 丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援(協会事務局) | 子どもの健やかな成長と、こころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。 | ○語りベクラブの支援 語りベクラブ(丹波篠山市1団体、丹波市2団体)が、丹波のむかしばなしを語り継ぐ活動を認定こども園、小学校、その他施設等で行っている。その活動を支援するとともに「むかしばなし」をホームページ等で全国に向けてPRする。 ○おはなし会の開催 丹波篠山市立中央図書館及び丹波市立中央図書館において、来館者に「丹波のむかしばなし」を活用した大型紙芝居などを披露する。 | 【予算額】 104,000 【前年度予算額】 1,732,000 |
| (4) 公2共通経費 | ア 施設運営・管理 | 公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費 | 公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。 | 【予算額】 89,890,000 【前年度予算額】 79,405,000 |

公3 芸術文化の振興

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|-----------------|--|---|---|---|
| (1) 舞台芸術鑑賞機会の提供 | ア 丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんばの開催 【丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんば実行委員会】 | 人と自然と文化が調和した地域づくりを目的とする丹波の森構想を推進するため、地域住民が主体となって企画実施する「街角コンサート」の開催や、国内外の優れた音楽家を迎える「ホールコンサート」を開催する。 また、令和7年度は大阪・関西万博のひょうごフィールドパピリオンとして、また、丹波篠山国際博への参加を通じて、丹波地域の魅力を発信する。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しむ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」の開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・「ふるさと音楽ひろば」(小学校10校程度) 「キン・コン・カン・コンサート」の開催 ・音楽関係部活動のための出前講座「プラン塾」の実施等 | 重点 ○テーマ:「丹波で響き合う竹と糸、そしてシューベルト～日本の篠笛と世界の撥弦楽器の出会い～」 開催期間:4月20日(日)～10月12日(日) ○オープニング・サロンコンサート ・開催日:4月20日(日) ・場所:お菓子の里丹波ミオール館(丹波篠山市) ・入場料:2,500円(当日3,000円) ・出演:畑儀文氏、土師あき子氏、高本一郎氏 他 ○ガラ・コンサート ・開催日:10月12日(日) ・場所:丹波の森公苑ホール ・入場料:大人2,500円 (当日3,000円、高校生以下:無料) ・出演:畑儀文氏、土師あき子氏、アロン・サリエル氏、城村奈津子氏 他 ○街角コンサート ・会場:丹波地域2市12会場 ○ふるさと音楽ひろば(丹波地域の小学校10校) ○キン・コン・カン・コンサート (丹波地域内の中・高・特別支援学校4校) ○吹奏楽部のための出前講座(丹波地域内で2回) ○音楽系部活動サポートプロジェクト (丹波市立中学校3校) | 【予算額】 1,300,000 (局)400,000 (宛)900,000 【前年度予算額】 1,200,000 |
| | イ 丹波の森公苑ホール等自主事業 (丹波の森公苑) | 丹波の森公苑のホールなどにおいて自主イベントを開催し、丹波地域住民への芸術鑑賞機会の提供と丹波の森公苑の賑わいづくりに努める。 | ○丹波の森ジュニアコーラスフェスティバル ・日時:令和8年1月 ・場所:丹波の森公苑ホール ・出演:篠山市少年少女合唱団、丹波市少年少女合唱団ほか | 【予算額】 130,000 【前年度予算額】 1,200,000 |
| (2) 芸術文化活動の振興 | ア アートクラフトフェスティバル in たんば2025の開催 (丹波年輪の里) | 丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。 | ○第34回アートクラフトフェスティバル in たんば2025 ・目的 丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来場者との交流を図る。 ・内容 全国の木工や陶磁器、布、皮など様々なジャンルのクラフトマンの作品を苑路や芝生広場に展示、即売する。約180店の出店予定 ・時期 11月1日(土)～2日(日) ・場所 丹波年輪の里苑内各施設 | 【予算額】 400,000 【前年度予算額】 400,000 |
| | イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催 (丹波年輪の里) | 「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。 | 重点 ○第37回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展) ・目的 人に優しい木を素材としたおもちゃを、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造する喜びを味わうことをテーマとして、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催 ・内容 部門 一般の部・「親子で遊べる木のおもちゃ作品部門」、ジュニアの部 賞・副賞 グランプリ(文部科学大臣賞 賞金50万円 準グランプリ(知事賞 賞金10万円) 優秀賞(丹波市長賞)他 ・時期 募集期間 一般の部 7月1日～8月10日 ジュニアの部 8月1日～9月15日 展示期間 一般の部 9月6日～21日 ジュニアの部 10月11日～26日 表彰式 10月26日 | 【予算額】 900,000 【前年度予算額】 900,000 |
| | ウ 展示ギャラリー等の活用 (丹波の森公苑) | 日頃から芸術文化を愛好し、創作活動に励まれている方々に作品発表の場を提供し、丹波の森公苑ギャラリー等の活性化を図る。 | ○丹波の森新春書き初め展 ・日 程:①1月21日(水)～27日(日) ②2月5日(木)～9日(月)(予定) ・場 所:丹波の森公苑 他 ○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・日 程:11月6日(木)～9日(日) ・場 所:丹波の森公苑 ○展示ギャラリーの開設 ・日 程:随時 ・場 所:丹波の森公苑展示ギャラリー ・内 容:書、絵画、写真等の作品展示 | 【予算額】 150,000 【前年度予算額】 150,000 |

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|-------------|------------------------------|--|---|---|
| | エ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑) | 丹波地域の子どもたちを対象とした伝統文化に関するワークショップを開催し、子どもたちが日本の伝統文化の良さや豊かさを体感できる機会を提供する。 | ○子どもたちのための和楽器鑑賞会 (丹波文化団体協議会による出前授業) ・日 程:9月～令和8年1月の間(予定) ・場 所:丹波管内の小学校10校 | 【予算額】 130,000 【前年度予算額】 200,000 |
| | オ 座っ展-丹波で座る木の椅子- (丹波年輪の里) | 丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。 「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピールする。 | ○座っ展 2025 ～丹波で座る木の椅子～ ・目的 丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピール ・内容 木工作家約14名、椅子約30脚を一堂に展示 ・時期 5月1日(木)～6日(火) ・場所 丹波年輪の里木の館 | 【予算額】 130,000 【前年度予算額】 120,000 |
| (3) 公3 共通経費 | ア 施設運営・管理 | 公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費 | 公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。 | 【予算額】 37,094,000 【前年度予算額】 36,222,000 |

公共 丹波地域情報の発信等

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----------------|--|--|---|---|
| (1) 丹波地域情報の発信等 | ア 情報発信等 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園) | みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、SNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域がつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。 | ○年報(年1回発行) ・HP等に掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ○フェイスブック、Instagram、Xによる情報発信 ・随時更新 ○SNS発信力の強化 ・4施設のだれもが SNS を活用して情報発信ができるよう職員研修を重ねる。 | 【予算額】 1,572,000 (局) 832,000 (苑) 740,000 【前年度予算額】 1,809,000 |
| | | 「丹波の森づくり」に対する理念浸透を図るための積極的な情報発信を行う。 | ○若い世代に向けた「丹波の森づくり」の冊子作成 ・丹波の森創造プランを子どもの視点で理解できる、わかりやすい冊子の作成及び広報を実施 ○理念浸透を図る動画編集 ・30周年記念事業で作成した動画を最新に再編集し、会議やイベント等で上映し、理解を深める。 ○「丹波の森」巨大お絵描き大会 ・親子で「巨大なキャンパス」に「丹波の森」をイメージする絵をみんなで描く。 ・子どもたちに「丹波の森」の大切さを知ってもらおう。 ・作成風景をドローンで撮影して SNS 発信する。 ・作成風景を冊子の表紙等に活用する。 | 【予算額】 1,479,000 【前年度予算額】 - |
| | イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園) | 地域の参画による事業運営を行うため、丹波地域の住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。 | ○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 | 【予算額】 405,000 (苑) 170,000 (輪) 65,000 (さ) 50,000 (並) 120,000 【前年度予算額】 395,000 |

II 収益事業会計等

取1 利用者への利便提供等事業

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|------------------|---|---|--|--|
| (1) 利用者への利便提供等事業 | ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園) | 1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売 | 1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 飲み物の自販機設置 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 | 【予算額】 8,208,000 (苑) 1,397,000 (輪) 6,520,000 (並) 291,000 【前年度予算額】 7,499,000 |

他1 芸術文化団体等活動支援事業

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|-----------------|-----------------------------|---|--|---|
| (1) 芸術文化団体等活動支援 | ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑) | 丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。 | ○丹波文化団体協議会 丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の文化向上のための事業を実施 ・丹波文化活動交流会 ・丹波合唱祭 ・兵庫県地域文化を考えるシンポジウム ・日本の文化体験フェスティバル ・夏休み子ども文化教室 ほか | 【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000 |
| | イ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局) | 森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行う。 | ○ウチダシュウジ基金活用事業 音楽活動振興助成実施要綱(ウチダシュウジ基金活用事業)に基づき、丹波の森公苑ホールを利用された丹波地域で音楽活動を行っている団体に助成金を交付 | 【予算額】 253,000 【前年度予算額】 253,000 |

Ⅲ 法人会計

| 項目 | 事業名 | 事業目的(内容) | 事業計画 | 備考 |
|----------|---|---|--|---|
| (1) 法人会計 | ア 協会維持運営 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園) | ・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人的費及び維持運営費 | ○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の人的費及び維持管理費 | 【予算額】 14,593,000 (局) 13,927,000 (苑) 208,000 (輪) 172,000 (さ) 125,000 (並) 161,000 |
| | イ 「丹波の森創造プラン」・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取り組み (協会事務局) | ・「丹波の森創造プラン」の普及推進 ・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取り組み | 重点 ○理念の浸透 丹波の森創造プランを通じ、丹波の森宣言・丹波の森構想の理念浸透を図る。 ・職員みんなで情報発信 ・新聞へコラム掲載 ・図書館に丹波の森コーナー ・丹波のむかしばなしおはなし会 ・子ども版冊子づくり ・丹波の森づくり動画の再編集 ・4施設での取り組み ・丹波の森構想を具体的に推進するために策定した「丹波の森創造プラン」の進捗状況を共有するために 丹波篠山市、丹波市、丹波県民局との合同会議を開催する。 ○重点的な取組 ・丹波の森づくりの「理念浸透」 ・「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の実践 ・地域で活躍する「もりびと(人材)」の育成・支援 ・4施設が連携した効果的な事業展開 | 【前年度予算額】 13,867,000 |
| | ウ 市・県との連携強化 (協会事務局) | 丹波の森構想、丹波の森宣言、丹波の森づくりの理念を広く情報発信し、「気づき・学び→体験・理解→地域で実践する」ため、その機会を積極的に提供していくため、協会・市・県が一体的に取り組む体制を強化する。 | ○協会・市・県等の連携強化 ・定期的な丹波の森構想推進連絡会の開催 構成：協会・丹波篠山市・丹波市・県民局 ・丹波の森研究所など取り組みテーマによって、2市担当部門との積極的な協議の場づくり ・丹波地域で活動する中間支援組織(民間)との連携を模索する。 ○職員が学び理解する場 ・丹波の森大学などを通じ、協会・市職員に対し、丹波の森づくりを学び理解する研修を実施。 ○切れ目のない取り組み ・幼児から高齢者まで切れ目のない学びや気づき、体験や理解する場づくりを意識した取り組みを進める。 | |

令和7年度収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

| | | |
|--------------------|-------|----|
| 収支予算書 | | 1 |
| 収支予算内訳書 | | 5 |
| 補助事業等事業一覧表 | | 9 |
| (参考) 収支予算書 (資金ベース) | | 11 |

収支予算書（損益ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|---------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 1,350,000 | 1,350,000 | 0 |
| 基本財産受取利息 | 1,350,000 | 1,350,000 | 0 |
| 特定資産運用益 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 森づくり基金受取利息 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 受取会費 | 150,000 | 158,000 | △8,000 |
| 賛助会員受取会費 | 150,000 | 158,000 | △8,000 |
| 賛助会員受取会費 | 150,000 | 158,000 | △8,000 |
| 事業収益 | 32,166,000 | 30,288,000 | 1,878,000 |
| 指定事業収益 | 20,418,000 | 19,541,000 | 877,000 |
| 参加者負担金収益 | 7,190,000 | 6,728,000 | 462,000 |
| 施設使用料収益 | 13,228,000 | 12,813,000 | 415,000 |
| 自主事業収益 | 9,948,000 | 8,947,000 | 1,001,000 |
| 参加者負担金収益 | 4,077,000 | 3,584,000 | 493,000 |
| 商品売上収益 | 4,151,000 | 3,718,000 | 433,000 |
| 手数料収益 | 1,720,000 | 1,645,000 | 75,000 |
| 事業活動収益 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 |
| 受取補助金等 | 311,793,000 | 315,269,000 | △3,476,000 |
| 受取県補助金等 | 30,557,000 | 30,217,000 | 340,000 |
| 受取県補助金 | 30,557,000 | 30,217,000 | 340,000 |
| 受取市補助金等 | 18,420,000 | 18,420,000 | 0 |
| 受取市負担・分担金 | 18,420,000 | 18,420,000 | 0 |
| 受取その他補助金等 | 551,000 | 629,000 | △78,000 |
| 受取その他補助金 | 421,000 | 490,000 | △69,000 |
| 受取その他負担・分担金 | 130,000 | 139,000 | △9,000 |
| 県受託収益 | 258,015,000 | 262,273,000 | △4,258,000 |
| 指定管理料収益 | 256,015,000 | 253,773,000 | 2,242,000 |
| その他受託収益 | 2,000,000 | 8,500,000 | △6,500,000 |
| 市受託収益 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| その他受託収益 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| その他受託収益 | 4,100,000 | 3,580,000 | 520,000 |
| 受取寄附金 | 1,000 | 146,000 | △145,000 |
| 受取森づくり基金寄附金 | 1,000 | 11,000 | △10,000 |

収支予算書（損益ベース）

No. 2

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|------------------|-------------|-------------|------------|
| 受取その他の寄附金 | 0 | 135,000 | △135,000 |
| 雑収益 | 2,301,000 | 2,675,000 | △374,000 |
| 雑収益 | 2,301,000 | 2,702,000 | △401,000 |
| 経常収益計 | 347,762,000 | 349,887,000 | △2,125,000 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 337,982,000 | 340,169,000 | △2,187,000 |
| 報酬 | 55,482,000 | 59,671,000 | △4,189,000 |
| 非常勤嘱託職員報酬 | 55,482,000 | 59,671,000 | △4,189,000 |
| 給料手当 | 78,174,000 | 69,645,000 | 8,529,000 |
| 給料手当 | 78,174,000 | 69,645,000 | 8,529,000 |
| 給料手当支出（会計年度任用職員） | 0 | 0 | 0 |
| 給料手当支出（会計年度任用職員） | 0 | 0 | 0 |
| 福利厚生費 | 27,423,000 | 27,593,000 | △170,000 |
| 法定福利費 | 26,825,000 | 27,004,000 | △179,000 |
| その他福利厚生費 | 598,000 | 589,000 | 9,000 |
| 賃金 | 10,230,000 | 12,041,000 | △1,811,000 |
| 諸謝金 | 4,828,000 | 5,443,000 | △615,000 |
| 講師謝金 | 2,392,000 | 2,110,000 | 282,000 |
| その他謝金 | 2,436,000 | 3,333,000 | △897,000 |
| 旅費交通費 | 5,709,000 | 5,516,000 | 193,000 |
| 通勤旅費交通費 | 3,446,000 | 3,344,000 | 102,000 |
| 役員・職員旅費交通費 | 605,000 | 823,000 | △218,000 |
| 講師旅費交通費 | 843,000 | 484,000 | 359,000 |
| その他旅費交通費 | 815,000 | 865,000 | △50,000 |
| 消耗品費 | 13,459,000 | 15,586,000 | △2,127,000 |
| 燃料費 | 2,466,000 | 2,469,000 | △3,000 |
| 会議費 | 212,000 | 222,000 | △10,000 |
| 印刷製本費 | 2,508,000 | 2,883,000 | △375,000 |
| 光熱水費 | 19,948,000 | 22,005,000 | △2,057,000 |
| 修繕費 | 7,377,000 | 15,144,000 | △7,767,000 |
| 商品仕入費 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 |
| 通信運搬費 | 2,785,000 | 2,784,000 | 1,000 |
| 広告料 | 866,000 | 905,000 | △39,000 |
| 手数料 | 4,544,000 | 2,600,000 | 1,944,000 |
| 保険料 | 1,974,000 | 1,886,000 | 88,000 |

収支予算書（損益ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|--------------|------------|------------|------------|
| 自動車損害保険料 | 502,000 | 520,000 | △18,000 |
| その他保険料 | 1,472,000 | 1,366,000 | 106,000 |
| 委託料 | 53,130,000 | 50,446,000 | 2,684,000 |
| 使用料及び賃借料 | 11,392,000 | 12,025,000 | △633,000 |
| 会場借上料 | 1,996,000 | 1,814,000 | 182,000 |
| NHK受信料 | 81,000 | 100,000 | △19,000 |
| 各種リース料 | 7,241,000 | 8,020,000 | △779,000 |
| その他の使用料及び賃借料 | 2,074,000 | 2,091,000 | △17,000 |
| 備品購入費 | 1,600,000 | 1,065,000 | 535,000 |
| 受入備品購入費 | 0 | 940,000 | △940,000 |
| その他備品購入費 | 1,600,000 | 125,000 | 1,475,000 |
| 負担・分担金及び補助金 | 4,039,000 | 3,711,000 | 328,000 |
| 補助金 | 900,000 | 772,000 | 128,000 |
| 負担・分担金 | 3,139,000 | 2,939,000 | 200,000 |
| 租税公課費 | 13,740,000 | 15,069,000 | △1,329,000 |
| 消費税 | 13,700,000 | 15,029,000 | △1,329,000 |
| 印紙税 | 40,000 | 40,000 | 0 |
| 工事請負費 | 14,773,000 | 10,065,000 | 4,708,000 |
| 雑費 | 23,000 | 95,000 | △72,000 |
| 雑費 | 23,000 | 95,000 | △72,000 |
| 管理費 | 14,443,000 | 14,446,000 | △3,000 |
| 報酬 | 515,000 | 5,098,000 | △4,583,000 |
| 役員報酬 | 515,000 | 5,098,000 | △4,583,000 |
| 給料手当 | 9,779,000 | 5,084,000 | 4,695,000 |
| 給料手当 | 9,779,000 | 5,084,000 | 4,695,000 |
| 福利厚生費 | 1,814,000 | 1,694,000 | 120,000 |
| 法定福利費 | 1,790,000 | 1,674,000 | 116,000 |
| その他福利厚生費 | 24,000 | 20,000 | 4,000 |
| 諸謝金 | 70,000 | 60,000 | 10,000 |
| その他謝金 | 70,000 | 60,000 | 10,000 |
| 旅費交通費 | 147,000 | 94,000 | 53,000 |
| 役員・職員旅費交通費 | 142,000 | 89,000 | 53,000 |
| その他旅費交通費 | 5,000 | 5,000 | 0 |
| 消耗品費 | 38,000 | 154,000 | △116,000 |
| 会議費 | 4,000 | 2,000 | 2,000 |

収支予算書（損益ベース）

No. 4

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|----------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 印刷製本費 | 0 | 745,000 | △745,000 |
| 通信運搬費 | 159,000 | 118,000 | 41,000 |
| 手数料 | 389,000 | 262,000 | 127,000 |
| 保険料 | 118,000 | 117,000 | 1,000 |
| 自動車損害保険料 | 46,000 | 46,000 | 0 |
| その他保険料 | 72,000 | 71,000 | 1,000 |
| 委託料 | 806,000 | 506,000 | 300,000 |
| 使用料及び賃借料 | 270,000 | 201,000 | 69,000 |
| 会場借上料 | 40,000 | 31,000 | 9,000 |
| 各種リース料 | 182,000 | 122,000 | 60,000 |
| その他の使用料及び賃借料 | 48,000 | 48,000 | 0 |
| 負担・分担金及び補助金 | 331,000 | 309,000 | 22,000 |
| 負担・分担金 | 331,000 | 309,000 | 22,000 |
| 租税公課費 | 3,000 | 2,000 | 1,000 |
| 印紙税 | 3,000 | 2,000 | 1,000 |
| 経常費用計 | 352,425,000 | 354,615,000 | △2,190,000 |
| 当期経常増減額 | △4,663,000 | △4,728,000 | 65,000 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 3,618,000 | △3,618,000 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 3,618,000 | △3,618,000 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △4,663,000 | △4,728,000 | 65,000 |
| 一般正味財産期首残高 | 134,111,239 | 109,797,057 | 24,314,182 |
| 一般正味財産期末残高 | 129,448,239 | 105,069,057 | 24,379,182 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 201,601,167 | 201,751,065 | △149,898 |
| 指定正味財産期末残高 | 201,601,167 | 201,751,065 | △149,898 |
| III 正味財産期末残高 | 331,049,406 | 306,820,122 | 24,229,284 |

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | 内部取引 | 合計 | |
|--------------|----------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|---------|-----------|------------|-------------|
| | 森林文化(地域づくり)の創造 | 生活創造活動の支援 | 芸術文化の振興 | (公益共通) | 小計 | 収益事業 | その他事業 | | | 小計 |
| 雑収益 | 374,000 | 800,000 | 0 | 0 | 1,174,000 | 1,127,000 | 0 | 1,127,000 | 0 | 2,301,000 |
| 内部取引収益 | 2,550,000 | 150,000 | 0 | 0 | 2,700,000 | 0 | 0 | 0 | △2,700,000 | 0 |
| 経常収益計 | 185,833,000 | 97,529,000 | 40,234,000 | 3,456,000 | 327,052,000 | 8,794,000 | 200,000 | 8,994,000 | 14,416,000 | 347,762,000 |
| (2)経常費用 | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 190,652,000 | 97,529,000 | 40,234,000 | 3,456,000 | 331,871,000 | 8,208,000 | 453,000 | 8,661,000 | 0 | 340,532,000 |
| 報酬 | 40,301,000 | 10,687,000 | 4,370,000 | 0 | 55,358,000 | 124,000 | 0 | 124,000 | 0 | 55,482,000 |
| 非常勤嘱託職員報酬 | 40,301,000 | 10,687,000 | 4,370,000 | 0 | 55,358,000 | 124,000 | 0 | 124,000 | 0 | 55,482,000 |
| 給料手当 | 44,625,000 | 7,057,000 | 26,274,000 | 0 | 77,956,000 | 218,000 | 0 | 218,000 | 0 | 78,174,000 |
| 給料手当 | 44,625,000 | 7,057,000 | 26,274,000 | 0 | 77,956,000 | 218,000 | 0 | 218,000 | 0 | 78,174,000 |
| 福利厚生費 | 15,800,000 | 5,288,000 | 6,236,000 | 0 | 27,324,000 | 99,000 | 0 | 99,000 | 0 | 27,423,000 |
| 法定福利費 | 15,321,000 | 5,233,000 | 6,172,000 | 0 | 26,726,000 | 99,000 | 0 | 99,000 | 0 | 26,825,000 |
| その他福利厚生費 | 479,000 | 55,000 | 64,000 | 0 | 598,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 598,000 |
| 賃金 | 8,447,000 | 1,747,000 | 0 | 0 | 10,194,000 | 36,000 | 0 | 36,000 | 0 | 10,230,000 |
| 諸謝金 | 3,310,000 | 1,191,000 | 112,000 | 215,000 | 4,828,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,828,000 |
| 講師謝金 | 1,210,000 | 1,070,000 | 112,000 | 0 | 2,392,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,392,000 |
| その他謝金 | 2,100,000 | 121,000 | 0 | 215,000 | 2,436,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,436,000 |
| 旅費交通費 | 4,009,000 | 1,078,000 | 369,000 | 163,000 | 5,619,000 | 10,000 | 80,000 | 90,000 | 0 | 5,709,000 |
| 通勤旅費交通費 | 2,594,000 | 648,000 | 194,000 | 0 | 3,436,000 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 3,446,000 |
| 役員・職員旅費交通費 | 365,000 | 30,000 | 130,000 | 0 | 525,000 | 0 | 80,000 | 80,000 | 0 | 605,000 |
| 講師旅費交通費 | 453,000 | 390,000 | 0 | 0 | 843,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 843,000 |
| その他旅費交通費 | 597,000 | 10,000 | 45,000 | 163,000 | 815,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 815,000 |
| 消耗品費 | 9,632,000 | 2,219,000 | 85,000 | 154,000 | 12,090,000 | 1,250,000 | 119,000 | 1,369,000 | 0 | 13,459,000 |
| 燃料費 | 1,040,000 | 1,411,000 | 0 | 0 | 2,451,000 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 2,466,000 |
| 会議費 | 118,000 | 47,000 | 5,000 | 41,000 | 211,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 212,000 |
| 印刷製本費 | 1,668,000 | 475,000 | 65,000 | 300,000 | 2,508,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,508,000 |
| 光熱水費 | 9,081,000 | 10,511,000 | 0 | 0 | 19,592,000 | 356,000 | 0 | 356,000 | 0 | 19,948,000 |
| 修繕費 | 3,204,000 | 840,000 | 0 | 0 | 4,044,000 | 3,333,000 | 0 | 3,333,000 | 0 | 7,377,000 |
| 商品仕入費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,300,000 | 0 | 1,300,000 | 0 | 1,300,000 |
| 通信運搬費 | 1,885,000 | 832,000 | 32,000 | 10,000 | 2,759,000 | 26,000 | 0 | 26,000 | 0 | 2,785,000 |
| 広告料 | 430,000 | 350,000 | 0 | 36,000 | 816,000 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 866,000 |
| 手数料 | 2,179,000 | 2,157,000 | 6,000 | 13,000 | 4,355,000 | 185,000 | 4,000 | 189,000 | 0 | 4,544,000 |
| 保険料 | 1,175,000 | 779,000 | 10,000 | 0 | 1,964,000 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 1,974,000 |
| 自動車損害保険料 | 264,000 | 238,000 | 0 | 0 | 502,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 502,000 |
| その他保険料 | 911,000 | 541,000 | 10,000 | 0 | 1,462,000 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 1,472,000 |
| 委託料 | 25,312,000 | 24,908,000 | 0 | 2,480,000 | 52,700,000 | 430,000 | 0 | 430,000 | 0 | 53,130,000 |
| 使用料及び賃借料 | 6,039,000 | 5,002,000 | 170,000 | 44,000 | 11,255,000 | 137,000 | 0 | 137,000 | 0 | 11,392,000 |
| 会場借上料 | 319,000 | 1,491,000 | 170,000 | 16,000 | 1,996,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,996,000 |
| NHK受信料 | 36,000 | 45,000 | 0 | 0 | 81,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 81,000 |
| 各種リース料 | 3,958,000 | 3,203,000 | 0 | 10,000 | 7,171,000 | 70,000 | 0 | 70,000 | 0 | 7,241,000 |
| その他の使用料及び賃借料 | 1,726,000 | 263,000 | 0 | 18,000 | 2,007,000 | 67,000 | 0 | 67,000 | 0 | 2,074,000 |

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | 内部取引 | 合 計 |
|--------------|------------------------|---------------|-------------|--------|------------|---------|---------|------------|------------|
| | 森林文化(地 域づくり)の 創造 | 生活創造活動 の支援 | 芸術文化の振 興 | (公益共通) | 小計 | 収益事業 | その他事業 | | |
| 備品購入費 | 1,600,000 | 0 | 0 | 0 | 1,600,000 | 0 | 0 | 0 | 1,600,000 |
| その他備品購入費 | 1,600,000 | 0 | 0 | 0 | 1,600,000 | 0 | 0 | 0 | 1,600,000 |
| 負担・分担金及び補助金 | 1,199,000 | 90,000 | 2,500,000 | 0 | 3,789,000 | 0 | 250,000 | 250,000 | 4,039,000 |
| 補助金 | 210,000 | 40,000 | 400,000 | 0 | 650,000 | 0 | 250,000 | 250,000 | 900,000 |
| 負担・分担金 | 989,000 | 50,000 | 2,100,000 | 0 | 3,139,000 | 0 | 0 | 0 | 3,139,000 |
| 租税公課費 | 6,813,000 | 6,320,000 | 0 | 0 | 13,133,000 | 607,000 | 0 | 607,000 | 13,740,000 |
| 消費税 | 6,785,000 | 6,308,000 | 0 | 0 | 13,093,000 | 607,000 | 0 | 607,000 | 13,700,000 |
| 印紙税 | 28,000 | 12,000 | 0 | 0 | 40,000 | 0 | 0 | 0 | 40,000 |
| 工事請負費 | 583,000 | 14,190,000 | 0 | 0 | 14,773,000 | 0 | 0 | 0 | 14,773,000 |
| 雑費 | 2,202,000 | 350,000 | 0 | 0 | 2,552,000 | 21,000 | 0 | 21,000 | 2,573,000 |
| 雑費 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 21,000 | 0 | 21,000 | 23,000 |
| 内部取引費用 | 2,200,000 | 350,000 | 0 | 0 | 2,550,000 | 0 | 0 | △2,550,000 | 0 |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,593,000 |
| 報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 515,000 |
| 役員報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 515,000 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,779,000 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,779,000 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,814,000 |
| 法定福利費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,790,000 |
| その他福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24,000 |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,000 |
| その他謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,000 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 147,000 |
| 役員・職員旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 142,000 |
| その他旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,000 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 159,000 |
| 手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 389,000 |
| 保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 118,000 |
| 自動車損害保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46,000 |
| その他保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 72,000 |
| 委託料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 806,000 |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 270,000 |
| 会場借上料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40,000 |
| 各種リース料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 182,000 |
| その他の使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48,000 |
| 負担・分担金及び補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 331,000 |
| 負担・分担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 331,000 |
| 租税公課費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 |

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | | 内部取引 | 合 計 |
|---------------|-------------------------|---------------|-------------|-----------|-------------|-----------|----------|------------|------------|-------------|
| | 森林文化(地 域づくり)の 創 造 | 生活創造活動 の支援 | 芸術文化の振 興 | (公益共通) | 小 計 | 収益事業 | その他事業 | 小 計 | | |
| 印紙税 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △150,000 | 0 |
| 内部取引費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △150,000 | △2,700,000 |
| 経常費用計 | 190,652,000 | 97,529,000 | 40,234,000 | 3,456,000 | 331,871,000 | 8,208,000 | 453,000 | 8,661,000 | 14,593,000 | 352,425,000 |
| 当期経常増減額 | △4,819,000 | 0 | 0 | 0 | △4,819,000 | 586,000 | △253,000 | 333,000 | △177,000 | △4,663,000 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | △4,819,000 | 0 | 0 | 0 | △4,819,000 | 586,000 | △253,000 | 333,000 | △177,000 | △4,663,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | - | - | - | - | 118,080,201 | - | - | 14,400,023 | 1,631,015 | 134,111,239 |
| 一般正味財産期首残高 | - | - | - | - | 113,261,201 | - | - | 14,733,023 | 1,454,015 | 129,448,239 |
| 一般正味財産期末残高 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| II 指定正味財産増減の部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | - | - | - | - | 201,701,167 | - | - | △100,000 | 0 | 201,601,167 |
| 指定正味財産期首残高 | - | - | - | - | 201,701,167 | - | - | △100,000 | 0 | 201,601,167 |
| 指定正味財産期末残高 | - | - | - | - | 314,962,368 | - | - | 14,633,023 | 1,454,015 | 331,049,406 |
| III 正味財産期末残高 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

令和7年度 補助事業等事業一覧表

(単位:千円)

| 科目名 | 事業名 | 相手先 | 業務内容 | 契約金額 | 備考 |
|--------------------------|-------------------------------------|-----------------------|--|---------------------|----------|
| 県補助金等収入 県補助金収入 | 地域振興事業補助金 | 兵庫県 | 本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。 | 3,480 | 事務局 |
| | 縄文の森ユース躍動プロジェクト事業 | 兵庫県 | 丹波新地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんば子ども王国プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。 | 2,097 | 事務局 |
| | TAMBAのもりびと10万人計画～丹波の森創造プランの実践～ | 兵庫県 | 時間の経過とともに「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の認知度が低下しており、あらためて地域住民に理念浸透を図る必要があることから、令和6年3月に「丹波の森創造プラン」を策定した。この計画を実践し、次代を担うもりびとを育成する。 | 1,479 | 事務局 |
| | 丹波の森公苑事業運営費 | 兵庫県 | 県立丹波の森公苑の事業運営業務を行う | 3,683 | 森公苑 |
| | ささやまの森公園業務運営費 | 兵庫県 | 県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。 | 19,818 | ささやまの森公園 |
| | 市補助金等収入 市負担・分担金収入 | 兵庫丹波の森協会負担金 | 丹波篠山市 丹波市 | 兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。 | 18,300 |
| 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催負担金 | | 丹波篠山市 丹波市 | 丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表する。 | 120 | 森公苑 |
| その他補助金等収入 その他負担・分担金収入 | 兵庫県文化賞受賞者小品展開催負担金 | (公財)兵庫県 芸術文化協会 | 兵庫県文化賞受賞者小品展を丹波の森公苑で開催する。 | 30 | 森公苑 |
| | 「ひょうご子ども・若者応援団」青少年協働育成事業「子ども元気応援事業」 | 丹波青少年 本部 | 新型コロナウイルス感染症の流行の間、学校以外の場所で友だちと直接触れ合っ遊ぶ機会の少なかった子どもたちが、元気で明るい笑顔を取り戻すことができるよう地方青少年本部及び神戸事務局が実施する地域の子どもたちを対象とした取り組みを支援する。 | 100 | 事務局 |
| その他補助金等収入 その他補助金収入 | 子どもゆめ基金助成金 | 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 | 子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。 | 421 | 事務局 |

(単位:千円)

| 科目名 | 事業名 | 相手先 | 業務内容 | 契約金額 | 備考 |
|------------------|------------------------------|-------------------|--|---------|----------|
| 県受託収入 指定管理料収入 | 県立丹波の森公苑指定管理 | 兵庫県 | 県立丹波の森公苑の管理運営業務を行う。 | 134,076 | 森公苑 |
| | 県立丹波年輪の里指定管理 | 兵庫県 | 県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。 | 74,794 | 年輪の里 |
| | 県立ささやまの森公園指定管理 | 兵庫県 | 県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。 | 6,885 | ささやまの森公園 |
| | 県立丹波並木道中央公園指定管理 | 兵庫県 | 県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。 | 40,260 | 並木道中央公園 |
| 県受託収入 その他受託収入 | 都市公園整備費 | 兵庫県 | 丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。 | 2,000 | 並木道中央公園 |
| 市受託収入 その他受託収入 | 太古の生きもの館の施設管理 | 丹波篠山市 | 丹波篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。 | 150 | 並木道中央公園 |
| その他受託収入 | 丹波の里山づくり促進事業 | 丹波の里山づくり促進事業実行委員会 | 認定したモデル団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。 | 600 | 事務局 |
| | | | 森林の将来ビジョンを描くことができるよう、丹波の森公苑等において人工林や天然林ごとの利活用区分に応じた里山林整備後の調査研究等を行い、地域の里山活動団体が実施する生物多様性の保全やSDGsの取組みを支援する。 | 1,500 | 事務局 |
| | ひょうご森づくりサポートセンター事業木育活動実施支援業務 | 兵庫県木材業協同組合連合会 | 子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。 | 2,000 | 年輪の里 |

311,793

収支予算書（資金ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-----|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| I 事業活動収入 | | | | |
| ① 基本財産運用収入 | | | | |
| 基本財産利息収入 | 1,350,000 | 1,350,000 | 0 | |
| ② 特定資産運用収入 | | | | |
| 森づくり基金利息収入 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| ③ 会費収入 | | | | |
| 賛助会員会費収入 | | | | |
| 賛助会員会費収入 | 150,000 | 158,000 | △8,000 | |
| ④ 事業収入 | | | | |
| 指定事業収入 | | | | |
| 参加者負担金収入 | 7,190,000 | 6,728,000 | 462,000 | |
| 施設使用料収入 | 13,228,000 | 12,813,000 | 415,000 | |
| 自主事業収入 | | | | |
| 参加者負担金収入 | 4,077,000 | 3,584,000 | 493,000 | |
| 商品売上収入 | 4,151,000 | 3,718,000 | 433,000 | |
| 手数料収入 | 1,720,000 | 1,645,000 | 75,000 | |
| 事業活動収入 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | |
| ⑤ 補助金等収入 | | | | |
| 県補助金等収入 | | | | |
| 県補助金収入 | 30,557,000 | 30,217,000 | 340,000 | |
| 市補助金等収入 | | | | |
| 市負担・分担金収入 | 18,420,000 | 18,420,000 | 0 | |
| その他補助金等収入 | | | | |
| その他補助金収入 | 421,000 | 490,000 | △69,000 | |
| その他負担・分担金収入 | 130,000 | 139,000 | △9,000 | |
| 県受託収入 | | | | |
| 指定管理料収入 | 256,015,000 | 253,773,000 | 2,242,000 | |
| その他受託収入 | 2,000,000 | 8,500,000 | △6,500,000 | |
| 市受託収入 | | | | |
| その他受託収入 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| その他受託収入 | 4,100,000 | 3,580,000 | 520,000 | |
| ⑥ 寄附金収入 | | | | |
| 森づくり基金寄附金収入 | 1,000 | 11,000 | △10,000 | |
| その他の寄附金収入 | 0 | 135,000 | △135,000 | |

収支予算書 (資金ベース)

No. 2

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|-------------|-------------|------------|-----|
| ⑦ 雑収入 | | | | |
| 雑収入 | 2,301,000 | 2,702,000 | △401,000 | |
| 内部取引収入 | 0 | △27,000 | 27,000 | |
| 事業活動収入計 | 347,762,000 | 349,887,000 | △2,125,000 | |
| 2 事業活動支出 | | | | |
| ① 事業費支出 | | | | |
| 報酬支出 | 55,482,000 | 59,091,000 | △3,609,000 | |
| 給料手当支出 | 78,174,000 | 70,225,000 | 7,949,000 | |
| 福利厚生費支出 | 27,423,000 | 27,591,000 | △168,000 | |
| 貸金支出 | 10,230,000 | 11,761,000 | △1,531,000 | |
| 諸謝金支出 | 4,828,000 | 4,868,000 | △40,000 | |
| 旅費交通費支出 | 5,709,000 | 5,367,000 | 342,000 | |
| 消耗品費支出 | 13,459,000 | 16,498,000 | △3,039,000 | |
| 燃料費支出 | 2,466,000 | 2,454,000 | 12,000 | |
| 会議費支出 | 212,000 | 223,000 | △11,000 | |
| 印刷製本費支出 | 2,508,000 | 2,818,000 | △310,000 | |
| 光熱水費支出 | 19,948,000 | 21,652,000 | △1,704,000 | |
| 修繕費支出 | 7,377,000 | 14,943,000 | △7,566,000 | |
| 商品仕入費支出 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | |
| 通信運搬費支出 | 2,785,000 | 2,741,000 | 44,000 | |
| 広告料支出 | 866,000 | 903,000 | △37,000 | |
| 手数料支出 | 4,544,000 | 2,710,000 | 1,834,000 | |
| 保険料支出 | 1,974,000 | 1,838,000 | 136,000 | |
| 委託料支出 | 53,130,000 | 50,736,000 | 2,394,000 | |
| 使用料及び賃借料支出 | 11,392,000 | 12,511,000 | △1,119,000 | |
| 備品購入費支出 | 1,600,000 | 884,000 | 716,000 | |
| 負担・分担金及び補助金支出 | | | | |
| 補助金支出 | 900,000 | 772,000 | 128,000 | |
| 負担・分担金支出 | 3,139,000 | 3,039,000 | 100,000 | |
| 租税公課費支出 | 13,740,000 | 15,084,000 | △1,344,000 | |
| 工事請負費支出 | 14,773,000 | 10,065,000 | 4,708,000 | |
| 雑支出 | | | | |
| 雑支出 | 23,000 | 95,000 | △72,000 | |
| 内部取引支出 | △300,000 | 0 | △300,000 | |
| ② 管理費支出 | | | | |

収支予算書 (資金ベース)

No. 3

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|---------------------|-------------|-------------|------------|-----|
| 報酬支出 | 515,000 | 5,098,000 | △4,583,000 | |
| 給料手当支出 | 9,779,000 | 5,084,000 | 4,695,000 | |
| 福利厚生費支出 | 1,814,000 | 1,694,000 | 120,000 | |
| 諸謝金支出 | 70,000 | 60,000 | 10,000 | |
| 旅費交通費支出 | 147,000 | 94,000 | 53,000 | |
| 消耗品費支出 | 38,000 | 154,000 | △116,000 | |
| 会議費支出 | 4,000 | 2,000 | 2,000 | |
| 印刷製本費支出 | 0 | 745,000 | △745,000 | |
| 通信運搬費支出 | 159,000 | 118,000 | 41,000 | |
| 手数料支出 | 389,000 | 262,000 | 127,000 | |
| 保険料支出 | 118,000 | 117,000 | 1,000 | |
| 委託料支出 | 806,000 | 506,000 | 300,000 | |
| 使用料及び賃借料支出 | 270,000 | 201,000 | 69,000 | |
| 負担・分担金及び補助金支出 | | | | |
| 負担・分担金支出 | 331,000 | 309,000 | 22,000 | |
| 租税公課費支出 | 3,000 | 2,000 | 1,000 | |
| 事業活動支出計 | 352,125,000 | 354,615,000 | △2,490,000 | |
| 事業活動収支差額 | △4,363,000 | △4,728,000 | 365,000 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1 投資活動収入 | | | | |
| ① 特定資産取崩収入 | | | | |
| 減価償却引当資産取崩収入 | 1,136,949 | 0 | 1,136,949 | |
| ② 基金取崩収入 | | | | |
| 期間基金取崩収入 | 250,000 | 150,000 | 100,000 | |
| 一般募金取崩収入 | 70,000 | 1,000,000 | △930,000 | |
| 投資活動収入計 | 1,456,949 | 1,150,000 | 306,949 | |
| 2 投資活動支出 | | | | |
| ① 基金取得支出 | | | | |
| 期間基金積立金支出 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 一般募金積立金支出 | 2,000 | 12,000 | △10,000 | |
| 投資活動支出計 | 3,000 | 13,000 | △10,000 | |
| 投資活動収支差額 | 1,453,949 | 1,137,000 | 316,949 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1 財務活動収入 | | | | |
| 財務活動収入計 | 0 | 0 | 0 | |

収支予算書 (資金ベース)

No. 4

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|----------|------------|------------|------------|-----|
| 2 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収支差額 | △2,909,051 | △3,591,000 | 681,949 | |
| 前期繰越収支差額 | 16,655,317 | 20,246,317 | △3,591,000 | |
| 次期繰越収支差額 | 13,746,266 | 16,655,317 | △2,909,051 | |